第 194 回 長崎大学 FD 実施報告書（令和元年 8 月 28 日提出）

１．題　　目　：　「アクティブラーニングをどう捉えるか」e ラーニング版

２．日　　時　：　令和元年 7 月 1 日（月）－7 月 31 日（水）

３．場　　所　：　e ラーニング

４．主　　催　：　教務委員会
　企画・実施：　評価・FD 教育改善専門部会

５．対　　象　：　全教職員

６．長崎大学 FD に関する申合せ第 2 第 1 項への該当について【複数選択可】
　（該当するものに〇を記入すること）：
　［　　］(1)　教員の教育活動に関するもの
　［　　］(2)　カリキュラムの改善に関するもの
　［　〇　］(3)　教育の組織的改善に関するもの
　［　　］(4)　入学者選抜方法の改善に関するもの
　［　〇　］(5)　その他教育改善及び入学者選抜の改善に関するもの

７．今回のＦＤの趣旨・意義（６．に関連した形で記述すること）：
　本 FD は平成 31 年 3 月 19 日に実施された FD 講習会「アクティブラーニングをどう捉えるか」（講師：石井英真（京都大学），成瀬尚志（長崎大学大学教育イノベーションセンター））の内容を e ラーニングで提供するものである。本学の授業科目において，学生の思考を促すために取り組まれている様々な活動（授業手法）の学部ごとの分布から読み取れることを紹介した後に，大学における授業づくりがどのようなことを踏まえている必要があるかについて，議論するものである。専門科目と教養科目，理系と文系などの分類によらず，学問を深めていくための授業のあり方について話題を提供するものであり，個々の教員が自身の授業について考える機会を得られることが期待される。

８．プログラム構成［題目・担当講師］（当日使用した資料等を添付すること）：

1.講習会動画の視聴

（①長崎大学でのアクティブラーニングの現状（24 分），②アクティブラーニングをどう捉えるか（1 時間 19 分），スライド PDF あり）

2.動画視聴後に，「講習会内容を踏まえて，自身の授業をより良いものにするために具体的にできそうな工夫についてまとめる。」という課題（Microsoft　Word 版の記入フォームに入力）を提出。

※添付①：長崎大学でのアクティブラーニングの現状_スライド資料

※添付②：アクティブラーニングをどう捉えるか_スライド資料

※添付③：視聴後の課題フォーム 12:45 - 13:00 受 付（第 2 会議室）

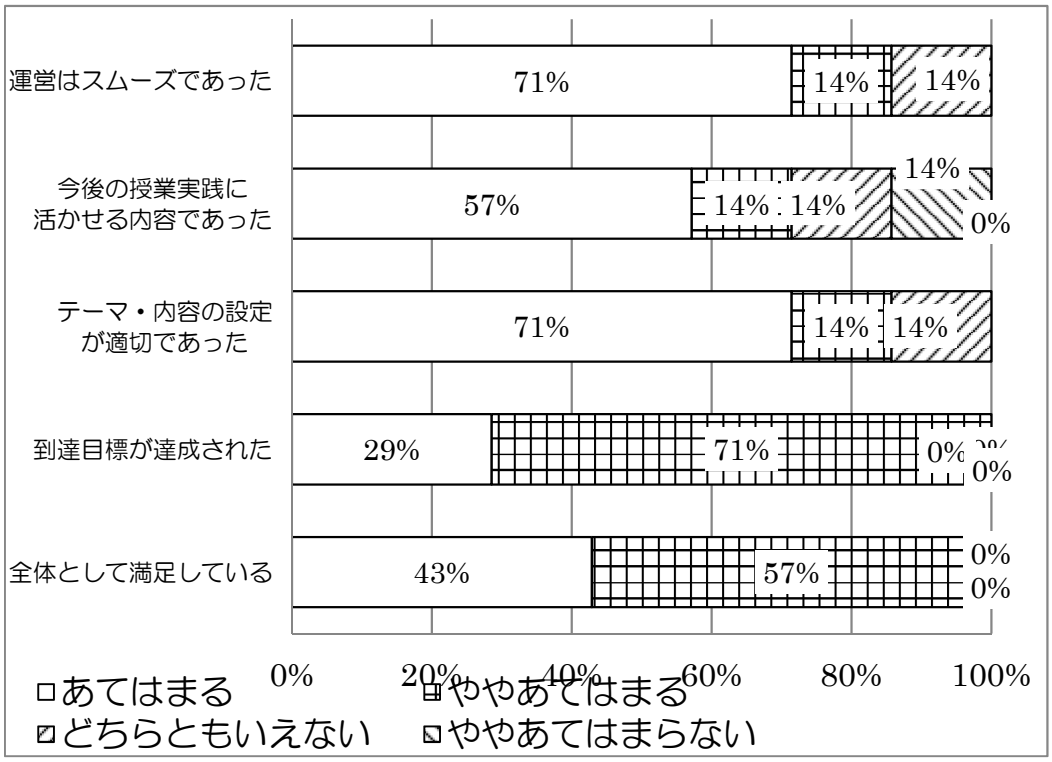
９．参　加　者：　8　名

（内訳）

所　属	人　数
ICT 基盤センター	1
教育学部	2
医学部保健学科	3
薬学部	1
核兵器廃絶研究センター	1
計	8

１０．実施したFDの成果等：

(1) 参加者からの評価（アンケートの集計結果を記述する）



(2) 総　括

前年度末に実施されたFD講習会を動画コンテンツによるｅラーニング型で提供したことにより，都合が合わずに参加できなかった方や着任前であった方が参加できた点で，機会を広げることができたと言える。講習会の内容は，授業設計を考える上での理念的なものが多く，直接的に授業実践に活かすための知識提供ではなかったが，提出された課題の内容をみると，参加者自身が授業について省みて，より良い授業のありかたを考える機会となっていたことが確認できる。

LACSのコミュニティ機能を利用した実施形態についても，「自己登録」作業も比較的スムーズに行われ，受講手順などに関する問い合わせも無く，滞りなく進められた。ただし，課題提出に関しては，一部の参加者において，受講現場のインターネット環境問題によりメールでの提出を受けるケースや，「提出したつもり」でいたものの「作業中」のままであったケースなどがあり，個別対応が必要であった。

以上を踏まえ，本FD講習会は効果的かつ効率的に実施されたと総括できる。

（文責：大学教育イノベーションセンター　北村　史）

１１．実施代表者の連絡先

大学教育イノベーションセンター
北村 史　助教
e-mail：fd@ml.nagasaki-u.ac.jp
電　話：内線 2455

１２．申請者の連絡先

学生支援部 教育支援課 総務班（教育改善）
田川　貴明
e-mail：fd@ml.nagasaki-u.ac.jp
電　　話：内線 2088